

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
外国語活動 Foreign Learning Activities		児童教育学科 初等教育学専攻	2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	大野 厚子	
概要				
<p>小学校に英語が導入されることが決まり、英語と共に、英語の背景にある文化を学ぶ必要性が出てきた。言語は文化であり、言語を学ぶということは、その背景の文化を学ぶことでもある。それゆえ、英語を教える立場になる教師がその英語の背景の文化や価値観を認識することが大変重要になってくる。日本の文化も日本語も十分に身につけていない小学生に英語を教える時に、日本の文化や価値観を失わせないように授業の運営の仕方が致命的に必要となってくる。このクラスでは、日本の文化とアメリカ文化を比較しながら、いかに文化的背景が違うかを認識し、日本の文化を認識させ、英語の背景にある文化を学ばせながらも、アメリカ文化に偏らないような英語教育をすることができることを目指す。また、英語会話も実際に練習しながら、その会話に含まれている文化的背景を実践的に研鑽する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 日本とアメリカの文化や価値観の違いを学ぶことができる。 (2) 英語の背景にある価値観や文化を土台にした英会話の仕方を学ぶことができる。 (3) 日本語独特の表現を通して、その背景の日本文化を学ぶことができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1. Nice to meet you, Kazu. (相手の名前を呼んでみよう) 『謙虚志向』対『対等志向』 2. Thank you so much! (お礼の言い方を覚えよう) 『集団志向』対『個人志向』 3. That's a lovely T-shirt. (ほめてみよう) 『依存志向』対『自立志向』 4. Pardon? (分からないときは聞きなおそう) 『形式志向』対『自由志向』 5. I really enjoyed it. (もう一言加えてみよう) 『調和志向』対『主張志向』 6. Is that right? (相づちを打とう) 『自然志向』対『人為志向』 7. Fantastic! (共感しよう) 『悲観志向』対『楽観志向』 8. Could you tell me the way to the station?(丁寧に頼んでみよう) 『緊張志向』対『弛緩志向』 9. Excuse me, but... (上手に苦情を言ってみよう) 10. That is my fault. (上手に謝ろう) 11. I'd rather not say. (答えたくない質問へ上手に対処しよう) 12. That's a good idea, but... (口調を和らげる表現を覚えよう) 13. I'd better be going. (会話を切り上げる表現を覚えよう) 14. プレゼンテーション (発表) 15. プレゼンテーション(発表)</p>				
テキストおよび 参 考 文 献	“Let's be Friends!” (マクミランランゲージハウス) & プリント			
メ ッ セ ー ジ な ど	小学校教諭二種免許：必修科目			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 日本とアメリカの文化や価値観の違いを学ぶことができる。	ほぼ完璧に学ぶことができる。	大きな間違いなく、学ぶことができる。	間違いはいくつかあるが、最低限の違いを学ぶことができる。	学んでいない。	プレゼンテーション (文化の違いの理解度の深さ、英語と日本語の背景にある価値観の違いの理解度)	40%
(2) 英語の背景にある価値観や文化を土台にした英会話の仕方を学ぶことができる。	ほぼ完璧に学ぶことができる。	大きな間違いなく、学ぶことができる。	間違いはいくつかあるが、最低限の違いを学ぶことができる	学んでいない。		30%
(3) 日本語独特の表現を通して、その背景の日本文化を学ぶことができる	ほぼ完璧に学ぶことができる。	大きな間違いなく、学ぶことができる。	間違いはいくつかあるが、最低限の違いを」学ぶことができる。			30%